

反戦反核反原発 8・6ヒロシマへ！

反原発署名集めています！

6月19日、1510人の「怒りのフクシマ大行動」デモ

反原発のうねりは止まらない！

みなさん！ 6月19日、ついに福島現地から原発事故に対する、1510人の怒りの声が上がりました。これまで「かわいそうなフクシマ」として扱われていた福島はついに「怒りのフクシマ」として自らの声を発しはじめたのです。6月11日に全世界200か所で行われた100万の反原発デモは福島現地を励まし、この決定的な決起を生み出したのです。

福島に怒りにつつこう！

福島大の一年生はデモに先だって行われた集会で発言しています。「政府は被曝量の基準値を引き上げています。毒ガスがまき散らされた時、毒ガスを浴びていいという量を引き上げる人はいません。政府、メディアも大学の教授などもウソばかり。今の世界、デタラメです。新潟では新たな原発を作ろうという計画もありましたが、住民投票を行い反対派が圧倒的多数で勝利しました。町長は退職させられ、計画は中止になりました。私たちが発言すれば変わります。原発はなくせるはずです。」

他にも、農民や現地の教職員組合が続々と発言にたって怒りを表明し、開始時には500人ほどだった集会は最後には1510人まで膨れ上がりました。「福島を返せ」「故郷を、海を、山を返せ」「未来を返せ」「ウソつきどもに責任をとらせろ」・・・激しい怒りのデモに沿道からの注目はアツく、翌日には現地の地方新聞をはじめとして、東京新聞などでも大きくとりあげられました。

この怒りにつつき、いまこそ学生は立ち上がろう！

全部ウソだったんだぜ！

今、この怒りと一体で、電力会社や政府などの原発推進派のウソがどんどん明らかになっています。東京に電力を供給していた福島・柏崎刈羽の合計17基の原発はすべて止まっているにも関わらず、深刻な電力不足など起きていないではありませんか。「計画停電」キャンペーンによって作られた「首都と福島の前立」など責任逃れのための彼らのウソです。私たち学生はこんなものにだまされない！ 分断を許さず、学生はフクシマと団結しよう！



全学連

全日本学生自治会総連合(織田陽介委員長)

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp
<http://www.zengakuren.jp/>

原発は止められる！

反原発の巨大な行動は、ついに潮目を変え始めました。右の記事を見てください。三重大学は、中部電力からの3億円の寄付を拒否し、「原発アレルギーの払しょく」のための講座を行うことを中止しました。また、福島大学でも、12人の準教授(助教授)が政府の原発事故対応に対して、腐った御用教授に代わって放射線健康リスク管理アドバイザーに加えるよう求めています。うねりは世界に波及し、ドイツに続いてイタリアも国民投票で94%の反対で原発計画の廃止を決めています。私たちが動けば、原発は止めることができます。



原発は核武装の隠れミノ

しかし、海江田経産相の発言にあるように、それでもまだ政府は原発を止めるところか、むしろ現在停止中の35基の原発を動かそうとしています。なぜでしょうか？ 次の二つの資料の中にその本質があると思います。

〈1969年 外務省・外交政策企画委員会の内部資料〉

「当面核兵器は保有しない政策をとるが、核兵器製造の経済的・技術的ポテンシャルは常に保持すると共に、これに対する掣肘(=干渉)を受けないよう配慮する。又、核兵器の一般についての政策は国際政治・経済的な利害得失の計算に基づくものであるとの趣旨を国民に啓発する」

〈外務省幹部の談話 1992年11月29日 朝日新聞〉

「個人としての見解だが、日本の外交力の裏付けとして、核武装の選択の可能性を捨ててしまわない方がいい。保有能力はもつが、当面、政策として持たない、という形でいく。そのためにも、プルトニウムの蓄積と、ミサイル転用できるロケット技術は開発しておかなければならない」

なぜ原発は強固に「国策」として推進されたのかはここにすべてがあると思います。「核兵器製造の技術的ポテンシャル」「プルトニウムの蓄積」とは正に原発のことではないでしょうか？ しかもこの最先頭に立っているのは、私たちが通っている大学の指導機関である文部科学省です。文科省は「もんじゅ」という高速増殖炉を持っていますが、この施設は90%を超える高純度のプルトニウムを生産する施設です。大学の腐敗は核武装のために系統的に組織され、作られてきたものだったのです！

御用学者を叩き出そう！

ある福島のお母さんは、政府が被曝量の基準値を1ミリシーベルトから20ミリシーベルトへ引き上げたことに際して、ネット上でこのような発言をしています。「政治家が変わらないのであれば、私たち国民が変わらなければいけません。子供を大事にする国に、命を大事にする国に住みたいです」・・・原発事故はこの国がどれほど腐っていたのかを衝撃的に突き出しました。もはや「原発」はその言葉を越えて、この社会のあり方を問う問題へと発展しています。

私たち学生は、「大学」とはいったい何か、「学問」とはいったい何かを真剣に問い直す時が来ているのではないのでしょうか？ 私たち学生は団結した行動によって、国家と資本によって買収され腐敗した御用学者を叩き出し、キャンパスを学生のための場所に、すなわち未来のための場所として取り戻そうではありませんか！

8・6ヒロシマへ！

最後に改めて訴えます。みなさん！ 私たち学生は、この国の腐敗を問い、これからのあり方を変えていくため、立ち上がるべきときが来ていると思います。反戦反核反原発の巨大な運動を学生が中心となって創り上げよう！

それは、原発とまったく同じ構造で基地をおしつけられ、今もMV22オスプレイの配備・辺野古への新基地建設に反対して闘う沖縄の反戦闘争とも一体のものです。なぜなら、基地も、原発も、この国を牛耳ってきた一部の腐った連中の利権のためのものであり、また、原発の本質が核武装である以上、この闘いは同じものだからです。

福島原発事故を「三度目の原爆投下」として捉え、今も原発政策を推進する菅の広島訪問を許してはなりません。「ノーモア、ヒロシマ・ナガサキ・フクシマ」を掲げ、ペテン的な記念式典を包囲するデモをやろう！ あふれだす怒りを行動に変え、腐った政治家にお願いするのではなく、私たちの力で社会を根本から変えよう！

反原発署名を8月6日のヒロシマ大行動までに1万筆集め、みんなで広島現地に結集しよう！

▼すべての原発・核をなくせ！ 7・8 東北大集会

- 日時：7月8日(金) 正午～集会開始
- 場所：東北大学・川内北キャンパス

被曝66周年 ヒロシマ・ナガサキ・フクシマを繰り返すな!

すべての核と原発をなくせ! 戦争とめよう!

8・6ヒロシマ大行動

日時：8月6日(土)
場所：広島県立総合体育館
主催：8・6ヒロシマ大行動実行委員会
→<http://hiroshima100.net/daikoudou>

▼7・10 反戦反核東京集会

- 日時：7月10日(日) 18時開場、18時半開始
- 場所：なかのゼロ・小ホール